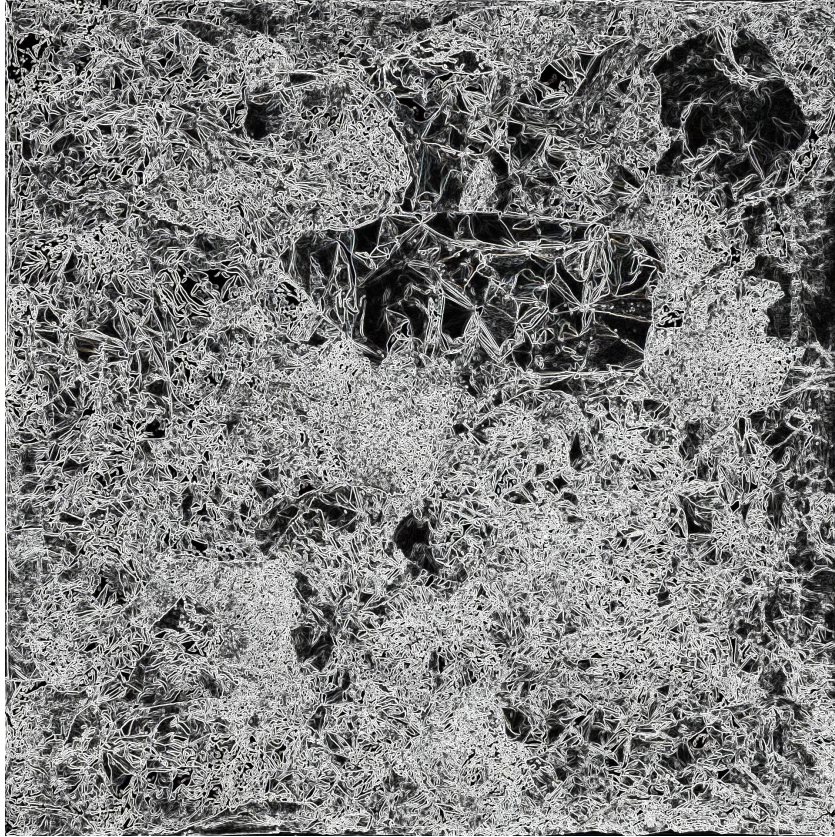


計測法 2



密度

アルミパネルの「密度（しわの細かさ・多さ）」のデータは、心臓の鼓動のようなビートに変換する。

ルール：偶数と奇数の「3回連続」でリズムが変わる

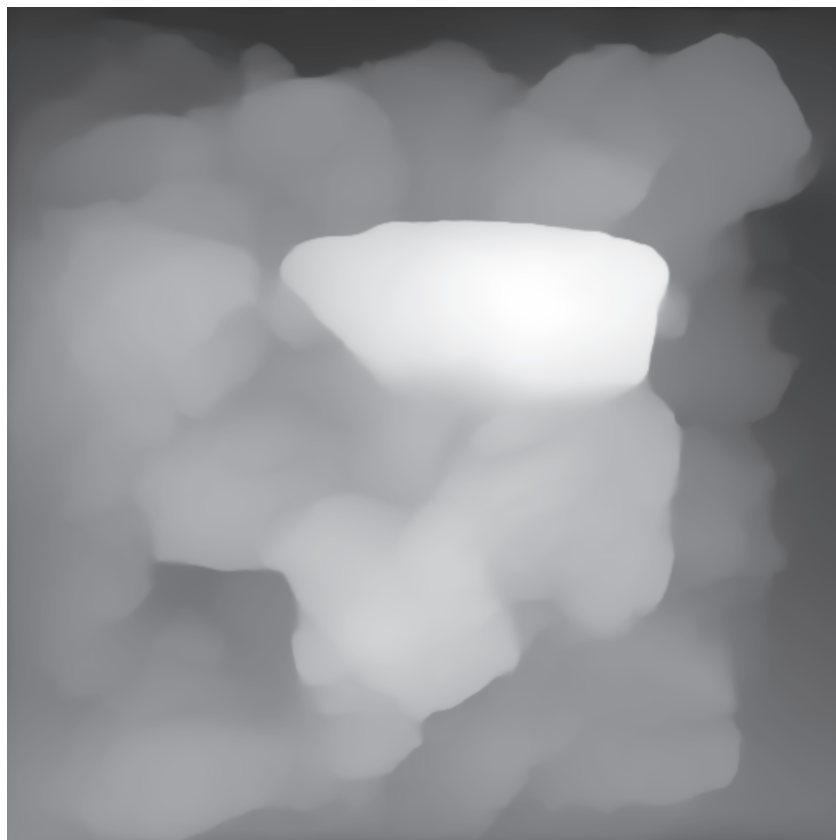
1秒間に送られてくる密度の数値（0～数千）が、偶数か奇数かによって、ドラムを打つスピード（手数）が以下の3段階で変化する。

基本（状態1）：1秒間に「1回」ゆったりと打つ。

偶数が3回連続すると（状態2）：1秒間に「2回」に手数が少し増える。

さらに奇数が3回連続すると（状態3）：1秒間に「3回」細かく打つ。

計測法 1



深度

アルミパネルの「深度（アルミの起伏）」のデータを、空間を漂うシームレスな持続音に変換する。

ルール 1：数値の上下が「音のうねり」になる

深度の数値（0～255）が細かく変動するたびに、音程が波のようにシュワシュワと揺れ動きます（ピッチベンド）。

ルール 2：偶数と奇数の「3 回連続」で和音が増減する

一番低いベース音（C3）が常に鳴り続けている状態を基準にする。

偶数が 3 回連続すると：新しい音が上に 1 つ重なる。（最大 10 層まで重なり、分厚い響きになる。）

奇数が 3 回連続すると：重なっていた音が上から 1 つずつ消えていく。（最低でもベース音 1 つは必ず残る。）